

第 37 期

# 中間報告書

（ 自 2017年9月1日 ）  
（ 至 2018年2月28日 ）



## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第37期上半期の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

2018年5月

株式会社技研製作所  
代表取締役社長 北村 精男

## 事業の概況

当社グループでは、「中期経営計画（2016年8月期-2018年8月期）」にもとづき、①インプラント工法のパッケージ化によるグローバル展開、②開発に特化した企業体制のさらなる強化、③高知を世界の圧入のメッカにする、を推進し、目標とする数値計画（売上高275億円 営業利益58億円）を達成すべく、鋭意活動しております。

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、激甚化する自然災害に加え、切迫する巨大地震等に備える防災・減災事業や、老朽化した社会インフラの再生・強化への需要拡大を背景に、公共工事が堅調に推移し、引き続き安定した状況が続きました。

そうした中、2018年1月には、「鋼管矢板圧入工法」に対応する新型圧入機「サイレントパイラー F401-P1200」の受注を開始しております。同工法は、防災・減災需要の高まりによって防潮堤や護岸などの改修・補強工事で採用が広がっております。

また、今後のグローバル展開をより強力に推進するため、2017年12月13日にお知らせいたしましたとおり、オーストラリアを拠点とするJ Steel Group Pty Limitedの発行済株式を50.1%取得し連結子会社といたしました。

このような状況のもと、当中間連結会計期間における売上高は13,948百万円（前年同期比1.0%増）となりました。利益面におきましては、業容拡大に伴う人件費等の増加により販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益3,167百万円（同2.1%減）、経常利益3,196百万円（同2.5%減）、親会社株主に帰属する中間純利益2,202百万円（同5.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

### ①建設機械事業

防災・減災需要の高まりによって防潮堤や護岸などの改修・補強工事においてジャイロプレス工法や鋼管矢板圧入工法の採用が増加しており、それらの工法に対応した機械の需要が増加しております。

また、海外では、圧入工法の認知度の高まりから、徐々に圧入機の売上を伸ばしております。

このような状況のもと、アジア地域での売上高が増加したことにより、建設機械事業の売上高は9,982百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は3,327百万円（同2.6%増）となりました。

## ②圧入工事業

山間部における地すべりの抑止や、クルーズ船などの大型船舶の接岸に対応するための港湾改修の工事においても「インプラント工法」が採用されるなど、当社工法の優位性が評価され、防災・減災関連工事に関わらず、その適用範囲が拡大しております。

南海トラフ地震に対する高知県での海岸堤防改良工事（「インプラント堤防」）は、当社受注工事の大部分が完成し、現在は新たな耐震対策工事に対する工法提案および受注活動を進めております。

このような状況のもとではありますが、一部大型案件の発注・着工時期の遅延が生じた結果、圧入工事業の売上高は3,966百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は594百万円（同6.4%減）となりました。

当社は株主の皆さまに対する安定的な利益配分を最重要項目と位置付けており、収益に応じた適正な利益配分と、長期的な事業展開に備えた財務体質強化のため、内部留保の充実を基本方針としております。

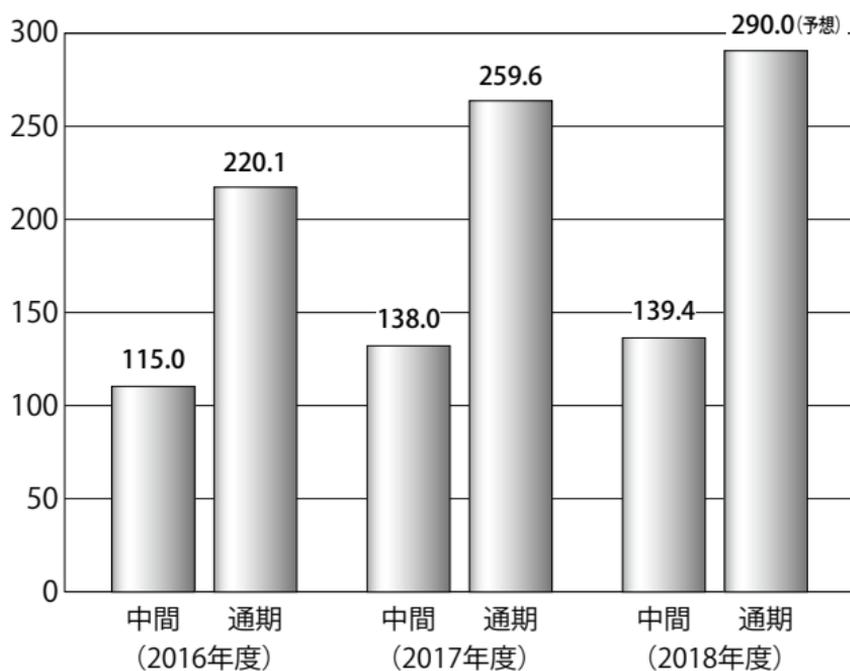
当期の配当につきましては、中間配当を30円とし、期末配当につきましても30円を予定しております。これにより、1株当たり年間配当額は60円となる予定です。

今後とも役職員一丸となり、一層の業績向上に努力をいたしますので、旧に倍するご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績の推移

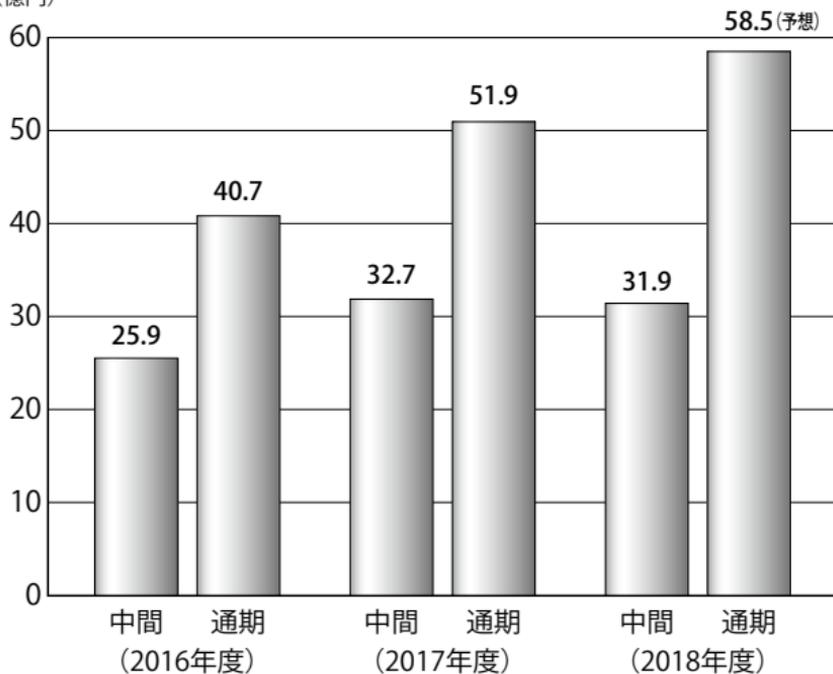
## ● 売上高

(億円)



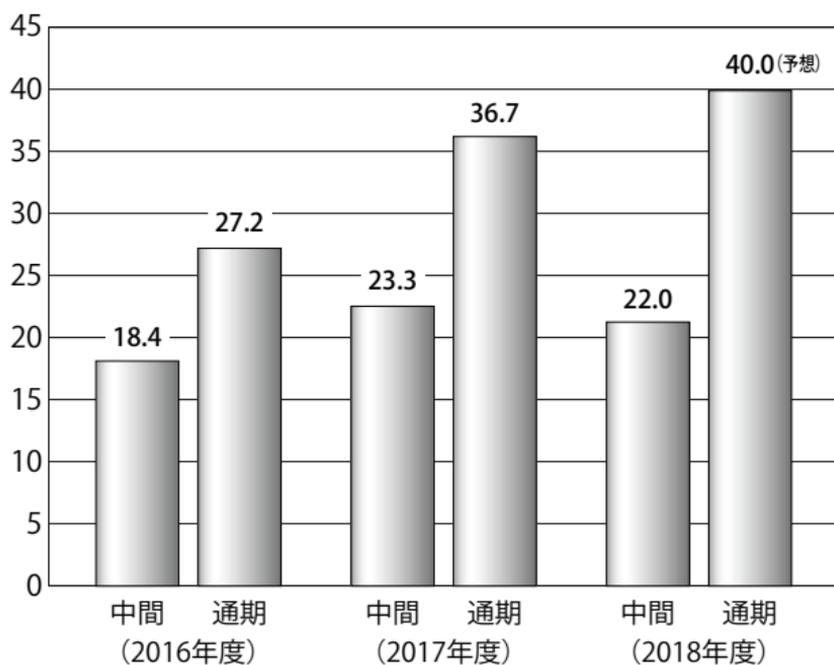
## ● 経常利益

(億円)



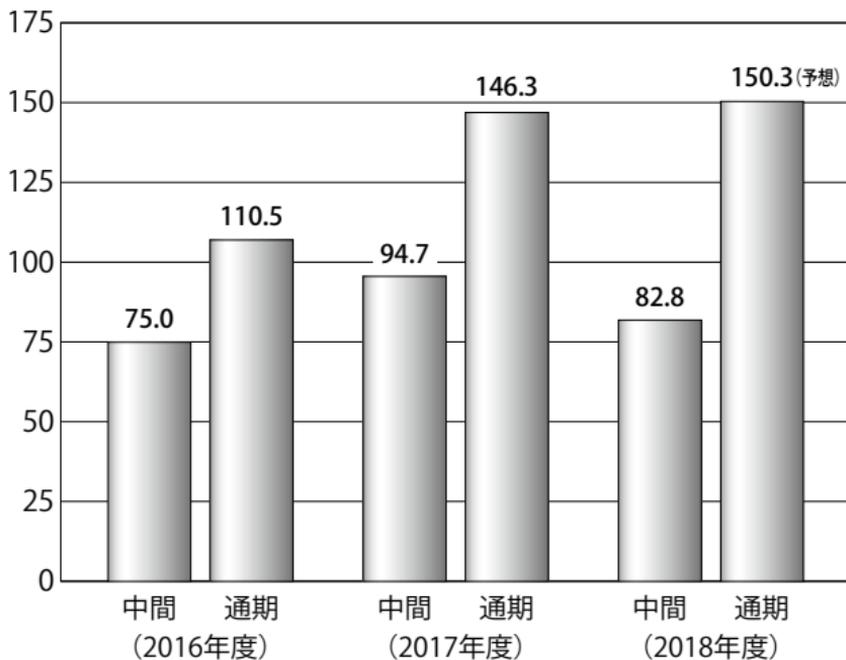
## ● 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益

(億円)



## ● 1株当たり当期(中間)純利益

(円)



# 中間連結貸借対照表 (2018年2月28日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>〔資産の部〕</b>		<b>〔負債の部〕</b>	
<b>流動資産</b>	<b>24,685</b>	<b>流動負債</b>	<b>13,183</b>
現金及び預金	6,021	支払手形及び買掛金	5,180
受取手形及び売掛金	9,893	短期借入金	656
製 品	1,557	未払法人税等	998
仕 掛 品	2,504	前 受 金	4,907
未成工事支出金	7	賞与引当金	310
原材料及び貯蔵品	2,396	その他の引当金	19
繰延税金資産	1,924	そ の 他	1,111
そ の 他	391	<b>固定負債</b>	<b>1,758</b>
貸倒引当金	△11	長期借入金	536
		製品機能維持引当金	329
<b>固定資産</b>	<b>24,174</b>	退職給付に係る負債	109
<b>有形固定資産</b>	<b>19,455</b>	その他の引当金	24
建物及び構築物	2,330	そ の 他	757
機械装置及び運搬具	5,860	<b>負債合計</b>	<b>14,942</b>
土 地	9,433	<b>〔純資産の部〕</b>	
建設仮勘定	1,669	<b>株主資本</b>	<b>33,267</b>
そ の 他	161	資 本 金	8,251
<b>無形固定資産</b>	<b>577</b>	資本剰余金	9,411
投資その他の資産	4,141	利益剰余金	15,908
投資有価証券	1,629	自己株式	△303
繰延税金資産	62	その他の包括利益累計額	△18
そ の 他	2,449	他有価証券評価差額金	1
貸倒引当金	△0	繰延ヘッジ損益	0
<b>資産合計</b>	<b>48,859</b>	為替換算調整勘定	△29
		退職給付に係る調整累計額	9
		<b>新株予約権</b>	<b>94</b>
		<b>非支配株主持分</b>	<b>573</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>33,917</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>48,859</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間連結損益計算書 (自2017年9月1日至2018年2月28日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		13,948
売 上 原 価		8,207
売 上 総 利 益		5,741
販売費及び一般管理費		2,573
営 業 利 益		3,167
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	2	
受 取 配 当 金	1	
不 動 産 賃 貸 料	39	
そ の 他	20	64
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	5	
不 動 産 賃 貸 費 用	9	
株 式 交 付 費	3	
為 替 差 損	11	
そ の 他	5	35
経 常 利 益		3,196
税金等調整前中間純利益		3,196
法 人 税 等		1,005
中 間 純 利 益		2,191
非支配株主に帰属する中間純利益		△ 11
親会社株主に帰属する中間純利益		2,202

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

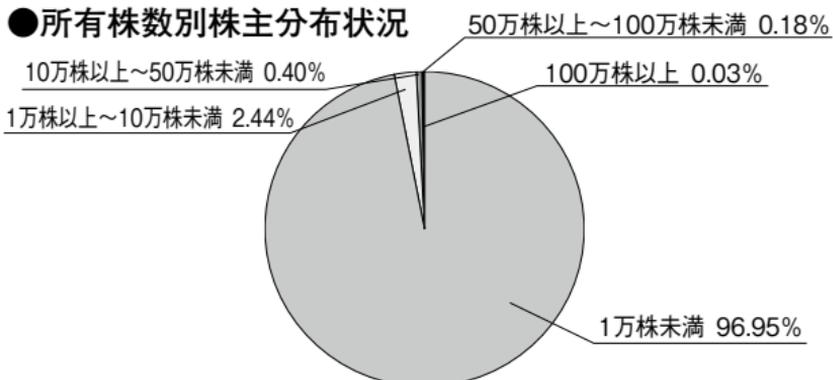
## 株式の状況 (2018年2月28日現在)

●発行可能株式総数	普通株式	100,000,000株
●発行済株式の総数	普通株式	27,364,628株
●株主数		5,990名
●大株主		

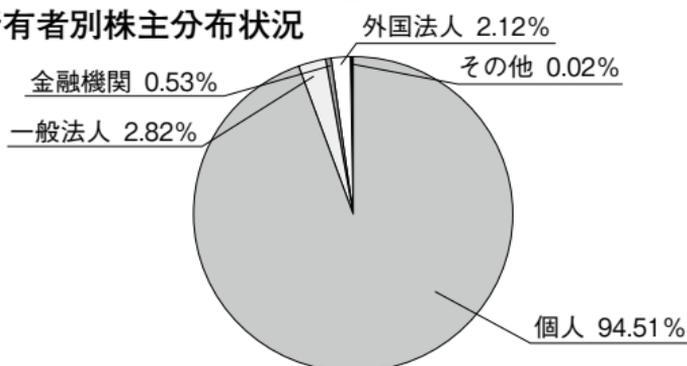
株主名	持株数	持株比率
有限会社北村興産	千株 6,001	% 22.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,925	7.21
株式会社四国銀行	1,060	3.97
株式会社高知銀行	793	2.97
北村精男	791	2.96
北村博美	649	2.43
北村知佐子	648	2.43
北村精章	646	2.42
技研共栄会	577	2.16
技研製作所従業員持株会	555	2.08

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 当社は、自己株式を692,546株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 3. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 4. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 5. 株式会社四国銀行は、所有株式を合算して表示しております。

### ●所有株数別株主分布状況



### ●所有者別株主分布状況



## 会社の概要 (2018年2月28日現在)

社名	株式会社技研製作所
本店所在地	高知県高知市布師田3948番地1
設立年月	1978年1月(創業1967年1月)
事業内容	○無公害工法・産業機械の研究開発および製造販売ならびにレンタル事業 ○土木建築その他建設工事全般に関する業務ならびにコンサルタント業務 ○土木施工技術・工法の研究開発 ○上記に関する海外事業
資本金	8,251,051,365円
従業員数	358名

## 役員 (2018年2月28日現在)

代表取締役社長	北村精男
取締役副社長	森部慎之助
専務取締役	アンソニー・バートラムス
常務取締役	前田みか
取締役	大平厚
取締役	田内宏明
取締役	水戸部正智
取締役*	吉良正人
取締役*	岩黒庄司
常勤監査役*	森國雄
監査役*	宮崎利博
監査役*	土居秀喜

\*印の役員は社外役員であります。

## 事業所

高知本社	高知県高知市布師田3948番地1
東京本社	東京都江東区有明1丁目3番28号
東北営業所	宮城県仙台市青葉区二日町3番10号 グラン・シャリオビル4階
関西営業所	大阪府大阪市西区阿波座2丁目1番1号 大阪本町西第一ビルディング6階
九州営業所	福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目19番29号 博多相互ビル6階
高知本社工場	高知県高知市布師田3948番地1
高知第二工場	高知県高知市布師田3978番地7
関東工場	千葉県浦安市港75番地1
関西工場	兵庫県丹波市市島町矢代401番地
ロンドン事務所	15 Manchester Mews, London W1U 2DX, UK
上海事務所	中華人民共和国上海市浦東新区 銀城中路168号 上海銀行大廈21楼

## グループ企業

### (国内)

株式会社技研施工

高知本社 高知県高知市布師田3948番地1

東京本社 千葉県浦安市港75番地1

シーアイテック株式会社 (非連結)

本社 東京都江東区有明1丁目3番28号

### (海外)

ギケン ヨーロッパ ビー・ブイ

本社 Damsluisweg 13, 1332 EA  
Almere-De Vaart, The Netherlands

ギケン セイサクショ アジア プライベート・リミテッド

本社 10 Hoe Chiang Road, #14-01 Keppel  
Towers, Singapore 089315

ギケン アメリカ コーポレーション

本社 5770 Hoffner Avenue, Suite 101, Orlando,  
Florida 32822, USA

J Steel Group Pty Limited

本社 Level 23, 207 Kent Street,  
Sydney NSW 2000 Australia

## 株 主 メ モ

**事業年度** 毎年9月1日から翌年8月31日まで

**定時株主総会** 毎年11月

**基準日** 定時株主総会 8月31日

期末配当金 8月31日

中間配当金 2月末日

**公告方法** 電子公告

当社ウェブサイト

(<https://www.giken.com>)にて掲載  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

**単元株式数** 100株

**株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

**同 連 絡 先** 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号(〒541-8502)  
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。





 株式会社 技研製作所